

## 事業計画書

1. 申請する法人について												
法人名		特定非営利活動法人 リバリュールライフ										
法人の設立登記日		2024	年	4	月	4	日					
法人設立前の団体の設立日		2022	年	8	月		日	※NPO法人設立前に任意団体等で活動実績がある場合は記載する				
ホームページ・SNS	ホームページ	<a href="https://revalu.life">https://revalu.life</a>				Facebook	<a href="https://www.facebook.com/npo.revalu.life">https://www.facebook.com/npo.revalu.life</a>					
	X (旧Twitter)	<a href="https://x.com/npo_revalulife">https://x.com/npo_revalulife</a>				YouTube	<a href="https://www.youtube.com/@%E3%83%AA%E3%83%90%E3%83%AA%E3%83%A5%E3%83%BC%E3%83%A9%E3%82%A4%E3%83%95/featured">https://www.youtube.com/@%E3%83%AA%E3%83%90%E3%83%AA%E3%83%A5%E3%83%BC%E3%83%A9%E3%82%A4%E3%83%95/featured</a>					
	Instagram	<a href="https://www.instagram.com/revalu.life/">https://www.instagram.com/revalu.life/</a>				その他						
活動歴・これまでの活動実績 <各活動90字以内>	活動①	2024年5月から対話の志向を広めるための勉強会(旧オープンダイアログ実践勉強会)を開催。以後、原則毎月開催している。										
	活動②	2024年6月～誰も排除しない「ユニバーサルフットサル」を開始。クラウドファンディングやふれあいの詩基金助成を受け盛夏の時期を除き開催。朝日新聞でも紹介される										
	活動③	2024年8月ふじみ野市にて、川越市・ふじみ野市・富士見市と同教育委員会の協賛を頂き「不登校は不幸じゃない」を開催。以後毎年開催。										
	活動④	2025年1月朝霞保健所主催の引きこもり家族教室への講師派遣。以後、朝霞保健所、ふじみ野市、和光市社会福祉協議会にも同様の講師派遣を行っている。										
	活動⑤	2025年7月から2026年2月にかけてつながる声・ひろがる未来イベントを開催した。										
助成金等の交付実績  ※ 2023年4月～2026年3月に交付された助成金を記載  ※ 5件以上ある場合は、直近のものから5件を記載		助成金等名称			交付者		交付年月		交付額			
	助成金等①	令和6年度埼玉県NPO活動促進助成金			埼玉県		令和6	年	6	月	284,000	円
	助成金等②	令和7年度埼玉県NPO活動促進助成金			埼玉県		令和7	年	6	月	448,000	円
	助成金等③	令和7年度ふれあいの詩基金助成金			埼玉県社会福祉協議会		令和7	年	10	月	100,000	円
	助成金等④							年		月		円
	助成金等⑤							年		月		円
申請する事業に従事する社員		氏名			役割							
	社員①	竹内善太			事業総括責任者							
	社員②	高口和之			事業経理責任者							
	社員③	松岡研一			事業執行役員							
	社員④	杉森泰樹			事業運営スタッフ・動画編集スタッフ							
	社員⑤	田中光			事業運営スタッフ・動画編集スタッフ							
	その他従事社員数	1			人							
	従事社員総数	6			人							

## 2. 申請する事業について

事業名	排除しない対話文化を県内へ一きききり・はなしきり・ひびきあいの実践と普及一	事業区分	スタートアップ支援事業	事業分野	つながり・支え合い
事業対象	主に川越市及び周辺地域(オンライン含む)	対象地域	主に川越市及び周辺地域(オンライン含む)	事業実施期間	2026/7/1 ~ 2027/2/28

### 解決したい地域課題及びその現状<300字程度>

地域社会において、社会的に弱い立場に置かれた人々の声が届く機会は極めて少ない。社会が無意識のうちに「強者・弱者」という構造を生み出し、弱者とみなされた人の声を排除してきた歴史がある。しかし排除は連鎖する。今日誰かを排除した社会は、明日には自分自身をも排除しうる。この構造を変えるには、非対称な関係性を解体する必要がある。対話はその手段となりうる。互いに「きききり・はなしきり・ひびきあい」を繰り返すことで、人は初めて対等・水平な関係に立つことができる。しかし川越市・ふじみ野市を含む地域社会において対話の場は依然として不足しており、多くの人が自分の価値観の外側にある声に触れる機会を持っていない。

### 上記の地域課題の解決に向けた事業の概要<300字程度>

これまでの活動を通じ、対等・水平な対話の機会提供は高く評価された。これは裏を返せば、地域の対話の場が依然不足していることを示す。本事業ではすべての取組を「対話」として位置づける。独自プログラム「きききり・はなしきり・ひびきあい」で対話を学び、「つながる声」では他者の体験を聴くことで気づけなかった価値観に出会う場を創出する。「リカバリーストーリー」では語り手と聴き手がひびきあい、語ることで水面下の思いが現れ、聴き手は新たな価値観に触れる。この3つの対話の循環を川越市・ふじみ野市から県内広域へ広げ、他団体が活用できる対話文化のモデルを生み出すことを目指す

### 事業効果（※ 事業の効果はどのように県内広域に及ぶか、単一市町村内で行う事業の場合は、事業の効果が他の地域にどのように裨益するのか具体的に記載）<300字程度>

本事業の効果は3つのルートで県内広域に波及する。  
第一に、「つながる声」の一部と「リカバリーストーリー」をYouTube等で発信し、孤立や排除を経験している県内各地の人々へ届ける。「つながる声」は価値観との出会いを、「リカバリーストーリー」は困難を乗り越えた経験の力を届ける。  
第二に、「きききり・はなしきり・ひびきあい」研修会を県内他地域からの参加者にも開放し、各地域に対話の実践者を育てる。  
第三に、対話の志向を県内各地に広げることで、これまで聞かれなかった声が聞かれる場の創出に寄与する。排除の連鎖を断つこの取組を、埼玉県全体の共有財産とすることを旨とする。

### 事業の発展性（これまでの取組を踏まえ、事業の自立的な運営や効果的な実施に向けてどのような工夫・改善を行うか具体的に記載）<300字程度>

昨年度の実践を通じ、参加者の継続的な関与と認知度拡大が課題として明確になった。今年度はこの2点を重点的に改善する。第一に、動画撮影・編集スキルの向上と制作環境の整備により「つながる声」および「リカバリーストーリー」のコンテンツの質を高め、YouTubeチャンネルの拡大を図る。PR TIMESでのプレスリリース配信やGoogleアドグラントの活用により認知度を県内広域へ戦略的に高め、協賛企業・団体の獲得や賛助会員の増加につなげ、助成金に依存しない財源確保への道を開く。  
第二に、SNSでの日常的な情報発信の強化と参加費設定により、新規参加者の獲得と運営基盤の安定化を目指す。

### 事業の先駆性・モデル性（※事業の手法など他団体の取組のモデルとなり得るポイントを記載）<300字程度>

本事業の先駆性は2点。  
第一に思想的基盤の独自性である。多くの支援活動が「支援する側・される側」という非対称な構造のまま運営される中、本法人は設立当初から弱い立場に置かれた人の声を排除しない対等・水平な関係性を根幹に据えてきた。この活動の根幹を「きききり・はなしきり・ひびきあい」という実践可能なプログラムとして体系化した取組は、県内においてほぼ前例がない。  
第二に精神科医・森川すいめい氏との連携である。第一人者の監修・指導のもとで対話の質を担保しながら地域実践を積み重ねるモデルは、他団体が再現・応用できる先駆的事例となりうる。この2点の組み合わせは県内他団体にとって参照すべきモデルとなる。

—

—

### 3. 申請事業の具体的な取組内容

取組①	取組名	新規/拡充/継続	実施時期	実施場所(市町村名)	実施場所(施設名等の名称)							
	つながる声	継続	7月 ~ 1月	オンライン	オンライン(ZOOM)							
	取組の目的<200字程度>											
	地域社会では、社会的に弱い立場に置かれた人の声が届く機会が極めて少ない。本取組では、自分の知らない他者の様々な体験を聴くことで、これまで気づけなかった自分の価値観に出会い、その価値観を広げていく場を創出する。オンライン開催により地域を問わず県内各地から参加できる環境を整え、多様な立場の人々が対等・水平に出会う機会を広げる。											
	取組の内容<100字程度>											
	オンラインツールを活用し、多様な立場の参加者が「きききり・はなしきり・ひびきあい」を実践する場を年4回開催する。参加者の同意を得て一部をYouTubeで配信する											
	対象者	事業実施回数		参加者数合計		事業収益見込額						
	興味関心のある方	月	1回 ×	4か月 =	4回	各回	10名 ×	4回 =	40名	1名あたり	0円 ×	40名 =
従業員数	ボランティア数	連携団体数	連携する団体の名称(役割)									
2名	0名	4団体	糖尿病当事者の団体、不登校の親の団体、刑余施設の支援者、性被害者の団体等からの話者の紹介を予定している。									

取組②	取組名	新規/拡充/継続	実施時期	実施場所(市町村名)	実施場所(施設名等の名称)							
	リカバリーストーリー	継続	7月 ~ 2月	川越市周辺(撮影)/youtube(配信)	川越市南公民館等							
	取組の目的<200字程度>											
	様々な困難な体験を乗り越えた人が自らの経験を語ることには、二重の価値がある。語り手にとっては、語ることで水面下にあった思いが現れ、自らの経験が社会に届く実感を得る。聴き手にとっては、新たな価値観に触れ、今まさに苦しんでいる人の一助となる。PRTIMES等を通じた公募により、ジャンルを問わずあらゆる経験に価値があることを社会に示す。											
	取組の内容<100字程度>											
	PRTIMES等で語り手を公募し、撮影・編集したリカバリーストーリー動画を年3本制作してYouTubeで公開する。語り手のジャンルは問わない。											
	対象者	事業実施回数		参加者数合計		事業収益見込額						
	今困っている人・興味関心のある方	月	1回 ×	3か月 =	3回	各回	100名 ×	3回 =	300名	1名あたり	0円 ×	300名 =
従業員数	ボランティア数	連携団体数	連携する団体の名称(役割)									
3名	名	団体										

取組③	取組名	新規/拡充/継続	実施時期	実施場所(市町村名)	実施場所(施設名等の名称)
	きききり・はなしきり・ひびきあい勉強会	拡充	7月 ~ 2月	川越市	川越市南公民館等
	取組の目的<200字程度>				
	オープンダイアログが大切にする「きく」と「はなす」を切り分けるという対話の基本的な実践を通じ、参加者が対等・水平な関係性を体験的に学ぶ場を提供する。月1回の継続的な開催により、対話の志向を日常に根付かせ、参加者自身が各々の地域や職場で対話の実践者となることを目指す。アクセスしやすい会場設定により、より多くの人に参加できる環境を整えると同時により深く学ぶための会の開催時間も2時間から3時間に延長する。				
	取組の内容<100字程度>				
	川越市内のアクセスしやすい会場にて、月1回・各回10名程度でオープンダイアログの実践勉強会を開催する。「きききり・はなしきり・ひびきあい」を体験的に学ぶ。				
	対象者	事業実施回数	参加者数合計	事業収益見込額	
対話を志向しようとする方	月 1回 × 8か月 = 8回	各回 10名 × 8回 = 80名	1名あたり 1,000円 × 80名 = 80,000円		
従業員数	ボランティア数	連携団体数	連携する団体の名称(役割)		
2名	名	1団体	森川すいめいさん(スーパーバイザー)		

取組④	取組名	新規/拡充/継続	実施時期	実施場所(市町村名)	実施場所(施設名等の名称)
	きききり・はなしきり・ひびきあい研修会	拡充	9月 ~ 9月	川越市	川越市南公民館等
	取組の目的<200字程度>				
	オープンダイアログの第一人者である精神科医・森川すいめい氏を招き、「きききり・はなしきり・ひびきあい」をより深く実践的に学ぶ1日研修会を開催する。昨年度の半日研修の経験を踏まえ、1日という時間を使い、より深い学びの場とすることで、参加者が各地域で対話の実践者・普及者として活躍できる力を養う。県内他地域からの参加者も募り、誰も排除しない対等水平な関係での対話の志向の県内広域への普及を図る。				
	取組の内容<100字程度>				
	森川すいめい氏を講師に招き、川越市内で1日研修会を開催する。県内他地域からも参加者を募り、「きききり・はなしきり・ひびきあい」を深く実践的に学ぶ。				
	対象者	事業実施回数	参加者数合計	事業収益見込額	
対話を志向しようとする現在支援に従事している方	月 1回 × 1か月 = 1回	各回 20名 × 1回 = 20名	1名あたり 4,000円 × 20名 = 円		
従業員数	ボランティア数	連携団体数	連携する団体の名称(役割)		
3名	名	1団体	精神科医でオープンダイアログトレーナーの森川すいめいさん(講師)		

取組 ⑤	取組名		新規/拡充/継続	実施時期	実施場所(市町村名)	実施場所(施設名等の名称)								
	取組の目的<200字程度>													
	取組の内容<100字程度>													
	対象者		事業実施回数		参加者数合計		事業収益見込額							
			月	回 ×	か月 =	0 回	各回	名 ×	0 回 =	0 名	1名あたり	円 ×	0 名 =	円
	従業員数	ボランティア数	連携団体数	連携する団体の名称(役割)										
	名	名	団体											

#### 4.申請事業の目標

事業全体の目標				
No.	目標	目標値	測定方法	
1	延べ参加者数	120名以上	参加者名簿の集計	
2	県内他地域からの参加者数	10名以上	参加後アンケート	
3	「対話の志向が広がった」と感じた参加者の割合	60%以上	事業終了後アンケート	
4				
5				
各取組の成果指標				
No.	取組名	目標	目標値	測定方法
取組①	つながる声	参加者満足度	60%以上が「新たな価値観に出会えた」と回答	参加後アンケート
取組②	リカバリーストーリー	YouTube視聴回数	3本合計300回以上	YouTube Analytics
取組③	きききり・はなしきり・ひびきあい勉強会	実践意欲	60%以上が「日常で実践したい」と回答	参加後アンケート
取組④	きききり・はなしきり・ひびきあい研修会	実践意欲	60%以上が「日常で実践したい」と回答	参加後アンケート
取組⑤	0			

## 5. 申請事業の実施に向けた課題とその解決のための取組・工夫等

課題①	具体的な課題	参加者の新規開拓・認知度不足
	課題解決のための取組・工夫	PRTIMESでのプレスリリース配信とGoogleアド Grantsを活用した広告展開により、川越市・ふじみ野市以外の県内各地への認知拡大を図る。またYouTubeチャンネルへのリカバリーストーリーおよびつながる声の一部配信により、オンラインでの継続的な情報発信を行う。
	目標	新規参加者数 全参加者の30%以上
課題②	具体的な課題	財源の自立化
	課題解決のための取組・工夫	勉強会・研修会への参加費設定により事業収入を確保する。YouTubeチャンネルの登録者・視聴者数の拡大を通じて協賛企業・団体の獲得につなげる。さらにクラウドファンディングの実施や賛助会員の拡大により、助成金に依存しない自立的な財源基盤を段階的に構築する。
	目標	事業収入160,000円の確保・活動応援会員の新規獲得3件以上
課題③	具体的な課題	人材不足・社員の負担集中
	課題解決のための取組・工夫	各取組のファシリテーターを役員が分担して担うことで特定の個人への負担集中を防ぐ。また勉強会の継続参加者の中から将来的なファシリテーター候補を育てる仕組みを構築する。SNSやPRTIMESを通じた広報により、プロボノスタッフや有償ボランティアの募集も行う。
	目標	ファシリテーター担当社員2名以上の育成

## 6. 3年後(2029年度)、法人がどのように成長しているか<300字以内>

2029年度、対話プログラム「きききり・はなしきり・ひびきあい」は、埼玉県内のモデル事業として広く認知され、川越市やふじみ野市を起点に、県内複数地域で同様の取り組みが展開されている。YouTubeチャンネルは安定した視聴基盤を築き、リカバリーストーリーや対話の実践動画を継続発信することで、法人の信頼性を支える柱となっている。財務面では、参加費や協賛金に加え、公的機関との連携により自立的な運営基盤を確立。増員した多様な専門スタッフが対等な関係で運営に参画し、「全ての経験を価値化する対話文化」を地域社会に根付かせる担い手として成長を遂げている。

# 収支予算書

法人名 特定非営利活動法人 リバリューライフ  
 事業名 排除しない対話文化を県内へ一きききり・はなしきり・ひびきあいの実践と普及一

## 1. 収入の部 462,962

項目		予算額(円)		積算内訳								
<b>a.助成金交付申請額</b>		300,000		※千円未満切り捨て/採択区分により補助率と交付額が変わる可能性があります								
<b>b.自己資金</b>		2,962		※自動計算								
<b>c.事業実施による収入等</b>		160,000		金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位	
(収入の内容)	きききり・はなしきり・ひびきあい勉強会参加費	(該当する事業)	事業3	80,000	1,000	円	×	10	人	×	8	回
(収入の内容)	きききり・はなしきり・ひびきあい研修会参加費	(該当する事業)	事業4	80,000	4,000	円	×	20	人	×	1	回
(収入の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(収入の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(収入の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
<b>d.その他</b>		0		金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位	
(収入の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(収入の内容)		(該当する事業)		0			×			×		

## 2. 支出の部 462,962

項目		予算額(円)		積算内訳								
<b>a.会場費</b>		15,700		金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位	
(支出の内容)	リカバリーストーリー撮影会場費	(該当する事業)	事業2	1,500	500	円	×	3	回	×		
(支出の内容)	きききり・はなしきり・ひびきあい勉強会場費	(該当する事業)	事業3	11,200	1,400	円	×	8	回	×		
(支出の内容)	きききり・はなしきり・ひびきあい研修会会場費	(該当する事業)	事業4	3,000	3,000	円	×	1	回	×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
<b>b.通信運搬費</b>		990		金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位	
(支出の内容)	支払調書郵送料(講師・話者等)	(該当する事業)	共通経費	990	110	円	×	9	通	×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
<b>c.旅費交通費</b>		900		金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位	
(支出の内容)	研修会講師交通費	(該当する事業)	事業4	900	900	円	×	1	人	×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		

d.消耗品費					0	金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×			
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×			
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×			
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×			
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×			
e.備品費					0	金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×			
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×			
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×			
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×			
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×			
f.委託費					0	金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×			
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×			
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×			
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×			
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×			
g.謝金					170,000	金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位
(支出の内容)	つながる声 登壇者謝金	(該当する事業)	事業1	40,000	10,000 円	×		4 人	×			1 時間	
(支出の内容)	リカバリーストーリー 話者 謝金	(該当する事業)	事業2	30,000	10,000 円	×		3 人	×			1 時間	
(支出の内容)	きききり・はなしきり・ひびきあい勉強会 講師謝金	(該当する事業)	事業4	100,000	100,000 円	×		1 人	×			1 日	
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×			
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×			
h.人件費					260,000	金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位
(支出の内容)	つながる声	(該当する事業)	事業1	104,000	104,000 円	×		1	×			別紙有	
(支出の内容)	リカバリーストーリー	(該当する事業)	事業2	72,000	72,000 円	×		1	×			別紙有	
(支出の内容)	きききり・はなしきり・ひびきあい勉強会	(該当する事業)	事業3	48,000	48,000 円	×		1	×			別紙有	
(支出の内容)	きききり・はなしきり・ひびきあい研修会	(該当する事業)	事業4	36,000	36,000 円	×		1	×			別紙有	
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×			
i.その他					15,372	金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位
(支出の内容)	ピーティックスシステム使用料(勉強会参加申込みシステム)	(該当する事業)	事業3	9,472	1,184 円	×		8 回	×				
(支出の内容)	ピーティックスシステム使用料(研修会参加申込みシステム)	(該当する事業)	事業4	5,900	5,900 円	×		1 回	×				
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×			
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×			